みどり
水土里ネット兵庫

vol.200
H30.1

# ひょうごの土地改良

## 「ふるさとの田んぼと水」こども絵画展 2017

全国農業協同組合中央会会長賞
【レタスの出荷のお手伝い】

全国水土里ネット会長賞
【レタスの収穫】

水土里ネット兵庫会長賞
【わたしたちの田んぼ】

入 選
【田植えの風景】

入 選
【大きなざりがにと、いっしょに、およごう】

入 選
【お玉じゃくしをとったぞー】

入 選
【おいしいお米や野菜をありがとう！！】

作品テーマ
新発見！
ぼくのわたしの
ふるさと

目　次

1．挨拶 水土里ネット兵庫 会長職務代理者 副会長 井上 英俊 …… 2
2．挨拶 兵庫県知事 井戸 敏三 …… 3
3．挨拶 衆議院議員 西村 康稔（水土里ネット兵庫 会長休職中）…… 4
4．挨拶 全国水土里ネット 会長会議顧問（参議院議員）進藤 金日子 …… 5
5．第 40 回 全国土地改良大会 静岡大会 …… 7
6．農業農村整備の集い･財務省 農林水産省への予算要望 …… 9
7．平成 29 年度 換地委員等実務研修会･土地改良区会計研修会･土地改良区役職員研修会 .. 11
8．ふるさとの田んぼと水 こども絵画展 2017 …… 14
9．〈トピックス　第 10 回 ひょうご水土里のふるさとフォーラム〉 .. 15

# 新年を迎えて

水土里ネット兵庫（兵庫県土地改良事業団体連合会）
会長職務代理者（副会長）　井上　英俊

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

会員並びに関係の皆様方には、日頃より当会の運営並びに農業農村整備の推進に、大変なご支援とご協力を頂いておりますこと、心より感謝と敬意を表します。

さて、我が国の農業農村は高齢化の進展・農業者の減少など、取り巻く情勢は、やはり厳しいものがあり、体質強化が急務であります。

そのため、国におかれましては土地改良法の改正を２年続けて国会に上程されるようにお聞きしております。昨年の改正では、農地中間管理機構関連で地元負担の不要な基盤整備事業の創設、防災減災対策強化に係る新たな仕組みの創設、さらに同意徴収手続きの簡素化・申請人数要件廃止など事業実施手続きの合理化に関する措置などが、盛り込まれました。

さらに今年の国会では、土地改良区のあり方に対する抜本改革について上程の準備が進められているようです。

機構関連の基盤整備では、地元関係者や県の大変なご尽力により、全国でも数少ない新規取り組みに対し、県内で４地区の新規採択の見込みと伺います。他の地域でも、この４つの地区に引き続き、新たな制度等を活用して、本県農業の競争力強化実現に努めていく必要があり、本会も精一杯支援してまいります。

また、県では全国最多のため池の保全に向けて、ため池サポートセンターを全県対象に設置していく方針を掲げられております。安全安心にも直結する重要な取り組みであり、本会もその取り組みを全力で支えていく所存です。

ところで本会は、本年７月 29 日をもって、還暦（60 周年）を迎えます。記念事業の実施も検討しておりますので、その節は多数の皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

今後とも、水土里ネット兵庫は役職員一丸となって、会員の支援に努めてまいりたいと考えております。引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本県農業の発展と、会員及び関係の皆様方のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# ～未来への扉を開く～

兵庫県知事

井戸敏三

新年あけましておめでとうございます。

兵庫県政 150 周年、2018 年の幕が開きました。1868 年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫県が発足し、150 年となります。

今年は、本県の行財政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して 10 年。最後の仕上げの時が来ました。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしなければなりません。

これまでの150年は成長の時代でした。これからは成熟の時代です。人口は50年以上、100 年近くは減少します。経済も右肩上がりの拡大は見込めません。一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過ごし方を今以上に求める時代になるはずです。

今後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適応しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていく。2018 年、そのための新たな挑戦を始めます。

第一に、未来への道筋を描く。兵庫の進むべき方向を県民と共有するため、10 年後のめざす姿と、持続可能な県政運営の枠組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを生み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働き方ができる環境も整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎になる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。

ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政 150 年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。

**兵庫県 150 年迎え 新しいふるさとづくり 持続目指さん**

# 新　春　を　迎　え　て

衆議院議員　　西　村　康　稔
（水土里ネット兵庫会長休職中）

新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様方には、何かとご高配を賜り、農業農村整備事業の推進に大変なご貢献を頂いていること心から感謝申し上げます。

土地改良関係予算に関しては、全国水土里ネットの二階会長の下で、大きく削減された予算の復活に向けて、昨年もしっかりと取り組んでまいりました。その結果、平成 28 年度補正予算と平成 29 年度当初予算を合わせた昨年度の 5,772 億円と比較すると、平成 29 年度補正予算においては 1,452 億円、平成 30 年度当初予算案においては 4,348 億円、合わせて 5,800 億円を確保する見込みとなり、着実に回復することができる状況となりました。これも関係者の皆様と一丸となって「闘った」成果であり、改めて御礼申し上げます。引き続き農業の生産性向上に向けて、土地改良事業が着実に実施できるよう、土地改良予算の所要額の確保、当初予算の増額を目指し、全力で頑張ってまいります。

さて、昨年 5 月に公布された改正土地改良法は、農業者からの申請によらず、農業者の費用負担や同意を求めずに、農地中間管理機構が借り入れている農地の基盤整備事業やため池等の農業用用排水施設の耐震化を実施できる制度が創設され、9 月に施行されました。土地改良事業が果たす役割は一層重要なものになっており、その実施に万全を期す所存でございます。

また、昨年は、10 月の衆議院議員総選挙で 6 期目の当選をさせていただきありがとうございました。内閣官房副長官も再任となり、内閣規範により兵庫県土地改良事業団体連合会長の職は休職が継続しておりますが、よろしくお願いいたします。さらに、昨年 9 月には全国ため池等整備事業推進協議会長（進藤副会長が職務を代行）にも就任し、日々緊張の連続です。

いずれにしましても、兵庫県の農業農村の発展のために、土地改良事業の果たすべき役割は大きなものがあります。本年も会員の皆様と共に心一つに頑張ってまいりたいと思っております。

結びに、本年が皆様方にとって実り多き年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 引き続き「闘う土地改良」で全力

都道府県土地改良事業団体連合会 会長会議顧問
参議院議員　進藤（しんどう）　金日子（かねひこ）

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、佳い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も参議院議員として国政に参画して２回目の新年を迎えました。新年に当たり、常日頃からの皆様のご協力とご理解に心より感謝申し上げますとともに、心を新たにして皆様のご期待に着実に応えることができるよう努力してまいる覚悟です。

さて、土地改良にとって本年は、昨年に引き続き重要な年となります。

まず米政策大転換元年に対する取組です。第一に、本年から国が米の生産数量目標の各都道府県への配分を廃止することに対する取組です。本年からは、地方の再生協議会が独自に米の生産数量目標を定めることになります。これに応じて、水田における飼料米、麦、大豆等の作付け目標を定め、市場動向等を睨みながら農家や地域の所得確保の最大化に挑むことになります。この挑戦が成果として結実するには、水田の大区画化や施設管理の省力化等による生産コストの削減を基本として、戦略作物（麦、大豆等）や高収益作物（野菜等）の生産に欠かせない排水改良等の土地改良が不可欠であり、その役割は益々増大していきます。

第二に、米の直接支払交付金（10a 当たり 7500 円の交付）が平成 29 年度限りで廃止されることに対する取組です。これに関しては、基本的にここ３年の間で回復した米価の安定が最重要課題ですが、あくまでも一律の米価でなく、産地・銘柄ごとに消費者の需要動向に応じた生産を行うことが大切です。不足している業務用米に対して低米価で供給しつつ、更なる生産コストの削減を進め、総体として農家の所得が増加する取組が欠かせません。これについても、土地改良の果たす役割が極めて大きいものがあります。

こうした視点から、新たに制度化された農地中間管理機構が借り入れしている農地について農業者の費用負担や同意を求めない基盤整備事業の活用など、昨年見直された土地改良制度等を有効に活用していく必要があります。

次に予算です。今年度補正予算で昨年に引き続き 1,452 億円の追加がなされ、更に平成 30 年度当初予算政府案においても 4,348 億円(対前年 328 億円増)が計上され、補正と当初を合わせて 5,800 億円を確保するなど着実に予算が回復してまいりました。これは、まさに「闘う土地改良」の成果であります。

いずれにしても土地改良は、政策目標を達成するための手段です。その手段が予算不足により機能しなければ目標が達成できないのは自明なのであり、今後の予算要請に当たっては、目標を明らかにしつつ、予算不足がもたらす目標達成への影響を分かりやすく訴えていくことも必要と考えます。

私自身、今年も引き続き「闘う土地改良」の先頭に立たせていただき、全力投球で皆様と一緒になって諸課題の解決に向けて専心努力してまいる覚悟を新たにしているところです。本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

平成 30 年 1 月 19 日(金)に開催された都道府県水土里ネット会長会議で、前 農林水産省 農村振興局 地域整備課長の宮崎雅夫(みやざきまさお)氏が、都道府県水土里ネット会長会議顧問に就任されました。

神戸市生まれの農家育ち、母の実家も農家で乳牛を飼育、夏休みなど朝早く起きて餌やりや乳搾りを手伝ったとのこと。

市内の小中学校を卒業、高校、大学に進学、アルバイトやサークル活動で貴重な経験を積む。近畿農政局での学生実習体験が国家公務員を目指すきっかけになり、昭和 62 年 農林水産省に入省 関東農政局を皮切りに、海外勤務を経て農村振興局、熊本県、平成 29 年 12 月に農林水産省退職。

身近な人であり、機会があれば出会いたいですね!!

# 第４０回全国土地改良大会　静岡大会の開催

“ふじのくに”で語ろう
土地改良が創る豊かな水土里を
～強く美しく活力のある農業農村の創造～

水土里ネット静岡 伊東 会長挨拶

第 40 回全国土地改良大会静岡大会は平成 29 年 10 月 25 日に沼津市で開催され、全国から 4,200 名を超える農業農村整備関係者が参集しました。

若い担い手が夢や希望を持てる新たな農業を築くためには、「経済」「環境」「社会」のそれぞれに持続性が確保された「強く美しく活力のある農業農村の創造」に努めるべきだとし、この大会テーマを合言葉に農山村の土台を創る「土地改良」にしっかり取り組んでいくと高らかに宣言されました。

静岡県土地改良事業団体連合会の伊東真英会長は、開会挨拶の中で、『古くは登呂遺跡（弥生時代の水田跡）、奈良・平安時代の条里制の水田跡、明治時代の耕地整理の技法「静岡式の畦畔改良」などの記録を紹介され、土地改良事業の実施に必要な農業土木技術として引継がれている。本大会が「これからの土地改良」を語り合う契機となることを願っている。』と延べられました。

全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長は、主催者挨拶の中で、『本年度は、補正予算を含めて大幅削減前と同額の予算を確保することができた。進藤金日子参議院議員も全国を飛び回って元気に頑張っており、その評価は実に高いものがある。これも一重に“闘う土地改良”の旗印の下、組織一丸となって戦い続けてきた結果であり、皆様方のご協力のお陰である。本年度は土地改良にとって 16 年振りに改正した新しい土地改良法を基軸に、新たな展開を図る節目の年となる。』と延べられました。

また、全国から選ばれた土地改良事業功績者の方々の表彰（農林水産大臣表彰 6 名・農村振興局長表彰 16 名・全国土地改良事業団体連合会長表彰 45 名）が行われました。

本県からは農林水産大臣表彰に井上英俊氏（兵庫県土地改良事業団体連合会副会長）、全国土地改良事業団体連合会長表彰に前田功氏（前加古川市東部土地改良区理事長）がこれまでの永年に亘る功績により、晴れの表彰を受けられました。

農林水産省農村振興局 室本隆司次長からは、「次世代につなぐ資産づくり」と題して基調講演があり、次の 3 章について述べられました。

第１章　水土という名の歴史的資産

天竜川下流の戦国時代における寺谷用水の開発等を紹介し、寺谷用水土地改良区では用水開削 350 周年の昭和 31 年より、天竜川の豊かな水を守るために水源涵養林の育成を行っている。

こうした水土という名の歴史的資産を地域資産として再評価し、次世代へ引継いでいくことが求められている。

第２章　土地改良が築く地域資産

大井川用水は事業完了から 30 年以上が経過し、老朽化が進んできたため、平成 11 年度に更新事業に着手した。

水路の改修と併せて小水力発電施設を整備し、毎年売電収入の約 1 億 3 千万円を複数の土地改良区の維持管理費用に充当している。

第３章　これからの土地改良（新たな資産形式）

平成 28 年 8 月に閣議決定された「土地改良長期計画」の 1 丁目 1 番地として「産地収益力の向上」を位置づけた。

「儲かる農業」を重点的に行っていく。そこに土地改良事業を集中的に投入していこうということである。

兵庫県参加者のみなさん

〈土地改良事業功績者表彰受賞者〉兵庫県

農林水産大臣表彰

井上　英俊　　兵庫県土地改良事業団体連合会副会長

全国土地改良事業団体連合会会長表彰

前田　功　　前 加古川市東部土地改良区理事長

## 農業農村整備の集い　－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－

平成 29 年 11 月 15 日、砂防会館別館シェーンバッハ・サボーで「農業農村整備の集い」が開催され、1,200 名を超える土地改良関係者が全国から参集した。

多数の国会議員（本人出席 130 名）が駆けつけ、二階俊博全土連会長は、常に我々は「闘う土地改良」であるべきだとし、ＮＮ予算確保への団結を訴えられました。

齋藤健農林水産大臣は、「予算の獲得に向け努力」、竹下亘自民党総務会長は、「土地改良は国造り」、塩谷立自民党選挙対策委員長 農林・食料戦略調査会長は、「関係者の努力を予算・制度に結びつける」、森山裕自民党国会対策委員長 ＴＰＰ・日ＥＵ等経済協定対策本部長は、「安定的に予算を確保」、井上義久公明党幹事長は「“闘い” の結果が出るよう頑張る」、進藤金日子自民党参議院議員 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問は「日本の命綱、土地改良の必要な予算確保を」と、祝辞を述べられた。

続いて、秋田県からは「圃場整備を機に法人化、高収益な園芸に取り組む」、大分県からは「圃場整備により重労働から解放、加工販売に夢描く」、和歌山県からは、「南紀甲水の紹介・うめ産地の魅力を発信」と題して事例発表があり、－20 代の若者が就農－、－女性が重労働から解放され、農産物の加工販売に夢を描いている－、－「梅染め愛好会」－を女性５人で始めた－　地域に明るさが見えてきて、次世代に繋いでいく期待等が紹介された。

集い閉会後、全会一致で採択された「闘う土地改良」のスローガンの下、土地改良関係予算の満額確保等を掲げた要請書が齋藤農林水産大臣に手渡された。

兵庫県選出の衆参両議院議員に対して、本会参加者による要請活動も行いました。

（開催風景）

（全国水土里ネット　二階会長）

## 財務省・農林水産省への予算要望

本会は、平成２９年１０月１６日に、平成３０年度当初予算政府案の閣議決定に向けて、「生産基盤の整備の一層の加速化」、「ほ場の大区画化・用水路の管路化などの再整備」、「ほ場汎用化（田畑輪換）」「ため池整備等の着実な推進」、「多面的機能支払制度の一層の活用」、「土地改良区の運営基盤の強化」等についての地域からの要望に応え、よりよい農村を次世代につなぐため、平成３０年度当初予算概算要求の満額確保を求め財務省、農林水産省に対し要望活動を行いました。

（大鹿行宏　主計局次長へ要望する本会代表者）

（室本農村振興局次長へ要望する本会代表者）

## 平成 30 年度 農業農村整備事業関係予算（30 当初及び 29 補正）

政府は、平成 29 年 12 月 22 日、平成 30 年度当初予算案 4,348 億円（対前年度増 328 億円）、29 年度補正 1,452 億円と合わせて 5,800 億円の農業農村整備事業関係予算を計上し、大幅削減前の平成 21 年度予算額（5,772 億円）を上回った。

農業農村整備事業に非公共事業である農地耕作条件改善事業及び農業水路等長寿命化・防災減災事業・農山漁村地域整備交付金を合わせて、対前年度比 108.2%の 4,348 億円を計上し、平成 29 年度補正予算は 1,452 億円を計上した。

～ＮＮ事業関係 30 年度概算決定額及び 29 年度補正額～　（単位：億円）

| ＮＮ事業関係 | 30 年度概算決定額 | 29 年度補正額 | 計 |
|---|---|---|---|
| 農業農村整備事業 | 3,211（104.1%） | 1,370 | 4,581 |
| 農地耕作条件改善事業等【非公共】 | 298（126.6%） | 82 | 380 |
| 農業水路等長寿命化･防災減災事業【非公共】 | 200（ 皆増 ） | － | 200 |
| 農山漁村地域整備交付金（農業農村整備） | 639（ 91.2%） | － | 639 |
| 計 | 4,348（108.2%） | 1,452 | 5,800 |

## 平成29年度　換地委員等実務研修会

換地業務を実施中又はほ場整備事業を実施予定の地元役員・換地委員・土地改良区・市町・県職員を対象とした換地委員等実務研修会を４会場で開催しました。

参加者は神戸会場は18名・豊岡会場29名・洲本会場81名・たつの会場79名の計207名が参加しました。

研修内容は、１時限目は兵庫県農政環境部農林水産局農地整備課基盤整備班藤尾主幹による「換地業務の全体の流れ」、２時限目は同じく藤尾主幹による「一時利用地の指定、税制等」、３時限目を兵庫県土地改良事業団体連合会事業部地籍換地課植田係長による「土地の評価と清算の例等」の研修を行いました。

この換地実務研修では専門的な用語や手続きが多く、理解し難いとの意見もあることから、研修では事例を交えた説明に留意した内容となっております。

この研修を通じて、換地事務の適切な処理及び促進に役立て下さい。

平成29年7月7日（金）神戸会場
（兵庫県土地改良会館６階会議室）

平成29年7月14日（金）豊岡会場
（兵庫県豊岡総合庁舎会議室）

平成29年7月20日（木）たつの会場
（龍野商工会議所セミナー室）

平成29年7月18日（金）洲本会場
（兵庫県洲本総合庁舎会議室）

## 平成29年度土地改良区会計研修会

平成29年度の土地改良区会計研修会は、姫路市・神戸市・豊岡市の３会場に分け、それぞれ9月5日・9月13日・9月22日に開催しました。

この研修会は昨年から実施している土地改良区体制強化事業の一環で、土地改良区の役職員等に対して、財務状況の明確化・透明化を目的とし、延べ 152 名の参加をいただきました。

今年度の研修テーマは、土地改良区等の不祥事件発生防止のための啓発及び監査内容並びに複式簿記会計導入の必要性について講義を行い、アンケート結果では約９割の方々から理解を頂きました。

「土地改良区の複式簿記会計導入について」では、導入済み土地改良区から取組状況の講義があり、出席者から積極的な質疑がなされるなど、熱心に聴講していただきました。

最後に会計・監査での取組事例をもっと紹介してほしいとの意見が出され、平成30年度の研修会に活かしてまいります。

研 修 内 容

| 講　義 | 講　師 |
|---|---|
| 土地改良区の財務管理強化について | 兵庫県農地整備課管理指導班 |
| 土地改良区の会計に関する点検内容について | 兵庫県土地改良事業団体連合会<br>経理課 |
| 土地改良区の複式簿記導入について | 加古川西部土地改良区 |
| 土地改良区の監査内容について | 税理士法人　ＦＬＡＰ |

## 平成29年度　土地改良区役職員研修会（技術実践向上研修）

平成29年11月29・30日（神戸）・12月6日（豊岡）・12月7日（姫路）に、土地改良区体制強化事業の一環として土地改良区の役職員を対象とした研修会を開催し、232名の参加がありました。

この研修は、農業農村整備事業に関する基礎的・専門的知識の習得を図ることにより技術力向上に資することを目的とし、専門の講師を迎え次のテーマで講義を行いました。

1　土地改良区の運営と土地改良法の改正について
近畿農政局　秋田土地改良管理課長

2　頭首工の維持補修について　土地改良技術事務所　玉川保全技術課長、荒木係長

3　土地改良区個人情報保護法に関する規程（例）の解説と運用について
全土連中央換地センター　浦山所長

4　農業農村を取り巻く最新の施策動向について
兵庫県農地整備課　渡邊副課長、角谷農村計画班長

5　農業農村整備事業に対する県土連の支援について　兵庫県土連　坊垣　参事

6　公庫資金について　兵庫県土連　水嶋副部長

また、12月13日にはこの役職員研修会のうち頭首工の維持補修について

7　ゴム井堰等の日常管理について　大和機械設備(株)　松林代表取締役

をテーマとして、六ヶ井堰・亀の井頭首工（いずれも三木市内 美嚢川）で地元管理者の協力を得て現地研修を行い51名の参加がありました。

土地改良施設の老朽が年ごとに進んでいくにもかかわらず対策の遅れは大きいものがあり、地域の土地改良区等が施設管理に苦慮している中、延べ5日間で283名の方々が熱心に受講されました。地域に持ち帰り、土地改良施設の適正な維持管理に努めていただけるものと期待しています。

来年度も適宜・適切なテーマを選定し、引き続き本土地改良区役職員研修を行う予定にしています。ご参加をお待ちしています。

現地研修：亀ノ井頭首工

## 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2017

主　催：全国水土里ネット・都道府県水土里ネット
授賞式：平成２９年度１２月１０日 東京都美術館

今回で 18 回目となる「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2017 は、「新発見！ぼくのわたしのふるさと」をテーマに全国各地から 8,069 点の作品応募があり、兵庫県からは全国水土里ネット会長賞をはじめ、入賞 3 点（全国 25 点）・入選 4 点（全国 204 点）が選定されました。

真室佳武（東京都美術館長）審査委員長は審査総評の中で、「子どもの目線で捉えられた、素朴で上手でなくても素直に表現されたものに感動を覚えた。審査は先入観なしに素直に見るよう心掛けた。水や土が生きているうえでは欠かせない非常に大切なものだということ。それを子供たちが子供たちなりに素直な気持ちで受け止めていってほしい、と強く思った。そしてその思いをさらに大人になっても思い、持ち続け、未来の子供たちにつないでいってほしい、ということを切に感じた。これからもますます身近な自然に興味を持ち、表現する楽しさを育んでほしい」と述べられました。

～兵庫県から入賞・入選に選定された方々～

授賞式：平成 29 年 12 月 10 日・東京都美術館

| | | |
|---|---|---|
| 全国水土里ネット会長賞「レタスの収穫」 | 南あわじ市立 賀集小学校 3 年 | 西山 青磨 |
| 全国農業協同組合中央会会長賞「レタスの出荷のお手伝い」 | 南あわじ市立 賀集小学校 4 年 | 西山 巧真 |
| 水土里ネット兵庫会長賞「わたしたちの田んぼ」 | 稲美町立 母里小学校 3 年 | 植田 侑永 |
| 入選「お玉じゃくしをとったぞー」 | 太子町立 石海小学校 2 年 | 渡邊 弘成 |
| 入選「大きなざりがにと、いっしょに、およごう」 | 太子町立 石海小学校 2 年 | 松浦 いちか |
| 入選「おいしいお米や野菜をありがとう！！」 | あわじ市･洲本市組合立 広田小学校 2 年 | 尾崎 雄星 |
| 入選「田植えの風景」 | あわじ市･洲本市組合立 広田小学校 5 年 | 大河内 結愛 |

## ＜ トピックス　第10回ひょうご水土里のふるさとフォーラム ＞

制度創設以来、毎年度開催し、本年で10回目を迎えた「ひょうご水土里のふるさとフォーラム」が、平成30年1月14日に神戸文化ホールで開催されました。

未来へつなごう!! ひょうごの水土里　～10 年のあゆみと目指すべき姿～をテーマに掲げ、より一層の農業農村の多面的機能の維持・発揮を図ることを目的としました。

10周年の記念フォーラムにふさわしく、県内外から1,152名もの参加者があり、地域の活動を継続する意義やこれからの目指すべき姿を共有し、農業農村の多面的機能の維持・発揮継続の大切さの意識が醸成されました。

～平成29年度「みどり豊かなふるさと大賞」受賞団体～

◆知事賞

| | |
|---|---|
| 活動組織部門 | 江井ヶ島ため池協議会（明石市） |
| 広報団体部門 | NPO法人メダカのコタロー劇団 |

◆委員長賞

| | |
|---|---|
| 豊かな農村環境づくり部門 | 上幡多農地･水･環境保全推進委員会（南あわじ市） |
| 地域づくり部門 | 上ノ下水土里会（宍粟市） |
| 環境創造型農業部門 | 三保農地水環境を守る会（朝来市） |
| 地域農業活性化部門 | 中村農地保全協議会（多可町） |

～ 荒木兵庫県副知事 挨拶 ～

兵庫県の活動面積51,095haは取組率10年連続全国1位。今年は県政150周年、土地改良施設を適切に保存し、過去からつないだものを後世につなぎ続ける。

～ 杉本多面的機能発揮推進協議会長 挨拶 ～

外国の方が来られたとしても本当に自慢できるものを掴まえて次の世代に伝えていくことが大事。

～ 石川兵庫県議会議員 来賓挨拶 ～

万全な土地改良事業推行のため、昨年、土地改良推進議員連盟を立ち上げ平成30年度以降の予算確保・拡大を要望。

～（一社）持続可能な地域社会総合研究所 藤山所長 基調講演

手間をかけたものしか伝わらない。地元は、一人一人の生きた姿を確認し、未来へつなげるところ。人口とは人生の数。

## 主な会務の状況（H29.4.1～H30.1.31）

| 月　日 | 内　容 | 場　所 |
|---|---|---|
| ６月２６日 | 農業農村整備の集い（予算要望活動） | 東京都 |
| ７月２１日 | 兵庫県土地改良事業団体連合会　監事会・中間監査 | 神戸市 |
| ９月４日～５日 | ＩＳＯ定期審査 | 神戸市 |
| ９月　５日 | 平成２９年度土地改良区会計研修会（姫路会場） | 姫路市 |
| ９月１３日 | 平成２９年度土地改良区会計研修会（神戸会場） | 神戸市 |
| ９月２２日 | 平成２９年度土地改良区会計研修会（豊岡会場） | 豊岡市 |
| １０月１６日 | 財務省・農林水産省への予算要望活動 | 東京都 |
| 10月24日～26日 | 第４０回全国土地改良大会（静岡大会） | 静岡県 |
| １０月２５日 | 都道府県土地改良事業団体連合会長会議 | 東京都 |
| １１月１０日 | 平成２９年度 土地改良換地士部会研修会 | 和歌山県 |
| １１月１５日 | 農業農村整備の集い（予算要望活動） | 東京都 |
| １１月２０日 | 兵庫県土地改良事業団体連合会　理事会　監事会・中間監査 | 神戸市 |
| 11月29日～30日 | 平成２９年度 土地改良区役職員研修会（神戸会場） | 神戸市 |
| １２月　２日 | 第１５回 銀の馬車道ため池ウォーキング | 福崎町 |
| １２月　６日 | 平成２９年度 土地改良区役職員研修会（豊岡会場） | 豊岡市 |
| １２月　７日 | 平成２９年度 土地改良区役職員研修会（姫路会場） | 姫路市 |
| １２月１１日 | 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議 | 東京都 |
| １月１４日 | 第１０回ひょうご水土里のふるさとフォーラム | 神戸市 |

**土地改良区等の組織運営面にも積極的に係わります。**
**なんでもご相談ください。（相談日・毎週月曜日）**


水土里ネット（みどりネット）
新しい農業農村を目指して

「水（み）」「土（ど）」「里（り）」
の未来を創造し働きます。

「水」‥‥農業用水や地域用水
「土」‥‥土地や農地
「里」‥‥農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット兵庫　　兵庫県土地改良事業団体連合会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通５－５－１２ 兵庫県土地改良会館
TEL 078-341-0500　FAX 078-341-0507
http://www.hdrnet.or.jp/